

す。他にホテルの朝食で置いてあったベジマイトも面白かったです。パンに塗って食べるのですが、とてもしょっぱく、僕は大丈夫でしたが友達にはみんな苦手なようでした。ビタミンが多く含まれているそうなので、オーストラリアの健康食品だと思っています。

次に、日本と異なっていておもしろかったのは人柄の違いです。オーストラリアの人たちは集合写真を撮っている「ヘーイ、スマイル！」と通りすがりに言ってきたり、とてもオープンで気さくな人が多かったです。学校に行った時も、「コンニチワ！」とすれ違った時に言ってきたりしてすぐに友達になりました。

日本人は僕も含めてシャイで恥ずかしがり屋の人が海外



に比べて多いと思います。これからワールドマスターズのトライアスロン競技が美波町で開催されることが決定しましたが、美波町や日本に来日される方も大会が近づくにつれて多くなると思います。街中などで道をたずねられたりした時に、しっかりと対応できる方が増えると思います。これから、僕も今回オーストラリアの方々にしてもらったように親切に対応できるようにしたいです。

グローバル人材 育成事業を体験して

小笠 一波

今回の体験で海外に行ってみないと分からないことがたくさん学べて、とても勉強になりました。この事業に参加する前は海外の人と話すときは一語一句間違えないようにするということが大切なことなのだと考えていました。しかし、実際に現地の方と話をしたところあまりそうではありませんでした。文が分からなくても身振り手振りや、単語だけでも理解してくれたからです。

今回私が学んだことは、正

しく英語を話すことも大切ですが、一番大切なことは相手に伝わる英語を話すということです。現地の人に自分の英語を理解してもらい、返事が返ってきたときには、とてもうれしかったです。英語で会話することはとても楽しいなと思いました。学校の生徒やホストファミリーが私の英語を理解してくれようと熱心に話を聞いてくれたことが何よりもうれしかったです。

たくさんさんの体験をオーストラリアでしましたが、一番心に残っていることはホームステイです。初めは緊張もあったのかホストファミリーの言ったことを聞き取るのに必死で会話を続けることができませんでした。一回で聞き取れなかったときはスピードを落としてゆっくりと喋ってくれたり、私たちが分かるように話してくれたりしました。そんなホストファミリーの協力もあって日を重ねるごとにどんどん聞き取れるようになり、言葉のキャッチボールが上手でできるようになっていきました。このような体験から、分かったふりをすることが一番自分の成長を止めてしまうということを感じました。分からないことは分からないとハッキリと言って相手にもう

一度説明してもらい、そこで初めて分かることこそが成長するための鍵になると思います。

たくさんさんの人の支えがあり、こうして楽しくオーストラリアで過ごすことができました。本当にありがとうございます。



グローバル人材 育成事業を体験して

寒川 智 有

今回のグローバル人材育成事業に参加できたことで、あまり英語を話すことができなかったも伝えようとする気持ちがあれば、相手に自分が思っていることを伝えることができるということを経験するこ

とができました。私は、初めての海外で自分が話す英語が通じること不安でしたが、役場の川西さんや先生、友達と一緒にいてくれたので、楽しく、元気に9日間を過ごすことができました。

ホストファミリーは、1歳から12歳までの子どもが6人とその両親を合わせて8人の大家族でした。みんなとコミュニケーションをとることができるのか不安でしたが、1人1人が私の目を見て、ゆっくりと話をしてくれたり、ジェスチャーで伝えてくれたりしたので、自然とコミュニケーションをとることができてとてもたのしい4日半でした。また学校では、日本語の授業だったので困ることなく終えることができました。オーストラリアには、モーニングテイという軽食をとる時間があり、1日目はサンドイッチ、2日目はピザでした。最初は、そんな時間必要ないと思っていましたが、いざモーニングテイの時間になると、2、3人分の量を食べました。とてもおいしかったです。そして、昼休みは自分とペアを組んでくれたバディの人と昼食を食べました。昼食後には、男子対女子でサッカーをしました。みんな積極的だったの

